

(1時間: 45分)

授 業 科 目	必須／選択の別	学年	標準時間数
HTML演習	必須	2	30
Linux	〃	2	30
Webアプリケーション構築1	〃	2	60
セキュリティ応用	〃	2	30
ビジネスマナーと文書技法	〃	2	30
モバイルアプリケーション開発	〃	2	40
プレゼンテーションスキル	〃	2	30
卒業研究	〃	2	240
小計			490
総合情報処理1－2 (レベル2)	必須選択 ※1	2	60
総合情報処理1－2 (レベル3)	〃	2	60
総合情報処理1－2 (レベル4)	〃	2	60
自主課題研究1－2	〃	2	60
総合情報処理2 (レベル2)	〃	2	180
総合情報処理2 (レベル3)	〃	2	180
総合情報処理2 (レベル4)	〃	2	180
自主課題研究2	〃	2	180
オブジェクト指向プログラミング	必須選択A ※2	2	90
Webアプリケーション構築2	〃	2	60
データベース応用	〃	2	30
システム設計演習	〃	2	50
Linuxサーバ技術1	必須選択B ※2	2	60
サーバ構築演習	〃	2	30
サーバ構築総合演習	〃	2	100
ネットワーク構築演習	〃	2	40
小計			470
必須科目計			960

※1 必須選択は、各太枠内から1科目選択する。

※2 必須選択A、Bは、A群またはB群のすべての科目を選択する。

ITシステム科2年学科の授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者 による授業	履修 年次	時間数 (90分)	科目概要
H - 2 801	HTML演習	○	2年	15	インターネットを通じて日常的に利用しているWebページのしくみを学ぶ。また、様々な利用者がいることを想定し、使いやすいWebページとはどういうものかを考察する。その後、作成を通じて理解する。
シス - 2 001	Linux	-	2年	15	サーバOSとして高いシェア率のLinuxについて、講義・実習問題を通して知識と基本操作を習得する。
H - 2 110	Webアプリケーション構築1	○	2年	30	サーバサイドプログラミングの基本であるJavaサーブレットとJSPの概念や仕組み、データベースとの連携などを学習し、簡単なWebアプリケーションを構築する。
H - 2 807	セキュリティ応用	○	2年	15	情報セキュリティ管理や情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)など情報セキュリティの実践的な知識や技術について、講義と過去問題を通して身に付ける。
人カ - 2 002	ビジネスマナーと文書技法	○	2年	15	ビジネスマナーとeメールを含むビジネス文書について、講義とさまざまなケーススタディにおける接客対応の実例や確認問題を通して習得する。
H - 2 160	モバイルアプリケーション開発	-	2年	20	クラウドサービスの統合開発環境(Monaca)を利用し、Android/iOS両対応のハイブリッドアプリを開発する。開発を通してHTML,CSS,JavaScriptの技術を習得する。
H - 2 154	プレゼンテーションスキル	-	2年	15	プレゼン資料の作成を通して、情報を収集し整理活用する方法など、プレゼンテーション技法を学習する。
H - 2 808	卒業研究	-	2年	120	実施テーマは新年度初頭に各講師から提示され、受講学生は希望に応じてテーマを1つ選択する。各テーマを選択した学生は、学科で得られた専門知識を活用し、指導講師の指導のもとで研究活動を行う。
H - 2 136	総合情報処理1-2(レベル2)	-	2年	30	総合情報処理1-1 レベル2の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 2 137	総合情報処理1-2(レベル3)	-	2年	30	総合情報処理1-1 レベル3の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 2 138	総合情報処理1-2(レベル4)	-	2年	30	総合情報処理1-1 レベル4の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 2 126	自主課題研究1-2	-	2年	30	自主課題研究1-1の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。 学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用(ポートフォリオ作成など)可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができるゲーム作品の制作を目指す。 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。

ITシステム科2年学科の授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者 による授業	履修 年次	時間数 (90分)	科目概要
H - 2 139	総合情報処理2(レベル2)	-	2年	90	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 2 140	総合情報処理2(レベル3)	-	2年	90	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 2 141	総合情報処理2(レベル4)	-	2年	90	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 2 127	自主課題研究2	-	2年	90	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用(ポートフォリオ作成など)可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができるゲーム作品の制作を目指す。 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
シスH - 2 005	オブジェクト指向プログラミング	-	2年	45	Java言語によるプログラミングを通して、Java言語の概要を理解するとともに、オブジェクト指向プログラミングの考え方を理解する。また、データベースとの連携などを学習し、簡単なアプリケーションシステムを構築する。
H - 2 111	Webアプリケーション構築2	-	2年	30	Webアプリケーション構築1で習得した技術(JSP、サーブレット、データベースなど)を使い、Webアプリケーションを構築する。MVCモデルや例外処理などを意識し、実際のシステム開発でも使う開発手法や実装方法について学ぶ。
シスHJ - 2 004	データベース応用	-	2年	15	システム開発に欠かせない基盤技術となっているデータベースを操作するSQLについて、知識だけでなく実際に目的からSQLを構築できる能力を養う。
H - 2 129	システム設計演習	-	2年	25	グループ演習を通じて、システム開発における設計フェーズを実践的に学ぶ。講師をユーザに見立てた、システムの仕様に関するヒアリングや調整を疑似体験する中で、メンバーとコミュニケーションを取りながら設計書を作成するノウハウを身に付ける。
H - 2 103	Linuxサーバ技術1	-	2年	30	Linuxシステムの構築・運用・管理の知識について、テキストや模擬問題を通して学習する。また、LPI Level1 Exam 101、および LinuC Level1 Exam 101の取得を目指す。
HSJ - 2 804	サーバ構築演習	-	2年	15	Linuxサーバの構築方法について、実習を通してLinuxのインストールや基本的なGUI操作などサーバ管理者としての基礎知識を学習する。
H - 2 805	サーバ構築総合演習	-	2年	50	サーバの構築について、インストールや設定といった演習を通して必要な知識と具体的な手法を習得する。
H - 2 147	ネットワーク構築演習	-	2年	20	ネットワークの構築について、スイッチやルータの設定といった演習を通して必要な知識と具体的な手法を習得する。

科目番号：H-2801

科 目 名			時間数(90分)			
HTML 演習			講 義	演 習	実 習	合 計
				15		15
科 目 概 要	インターネットを通じて日常的に利用している Web ページのしくみを学ぶ。また、様々な利用者がいることを想定し、使いやすい Web ページとはどういうものかを考察する。その後、作成を通じて理解する。 なお、本科目は IT 企業で Web サイト構築や運営に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	HTML, CSS, JavaScript の基本的な機能を理解し、デザインを意識した Web ページを作成できる。作成の際には専用エディタを使用し、効率的な Web ページ制作を行うことができる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	導入 ・環境構築 ・科目の目的		9	フォーム	
	2	HTML の仕組み		10		
	3	テキストの表示		11	入力チェックと JavaScript	
	4	リンクの指定		12		
	5	画像とリンク		13	CSS と JavaScript	
	6	セクションと CSS		14	CSS3	
	7	CSS の仕組み		15	まとめ	
	8	テーブルとレイアウト				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	HTML 演習 HTML5 対応版		エスシーシー		
	副教材					
実 習 環 境	Adobe Brackets Google Chrome					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：シス-2001

科 目 名			時間数(90分)			
L i n u x			講 義	演 習	実 習	合 計
					15	15
科 目 概 要	サーバOSとして高いシェア率のL i n u xについて、講義・実習問題を通して知識と基本操作を習得する。					
学 習 到 達 目 標	L i n u xの概念を理解するとともにコマンドの使い方を習得することで、実際のサーバを操作できるスキルを習得する。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	Linux の概要		13	総合実習	
	2	ユーザ管理		14		
	3	プロセス		15	科目試験	
	4	ファイルシステムとディレクトリの操作				
	5	パーミッション				
	6	シンボリックリンクとパス指定				
	7	エディタ (vi)				
	8	エディタ (jvim)				
	9	ネットワークとバックアップ関連コマンド				
	10	シェル				
	11	シェルの操作				
	12	シェルスクリプト				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	改訂 基礎から学ぶLinux		S C C		
実 習 環 境	Tera Term					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-2110

科 目 名			時間数(90分)			
Web アプリケーション構築 1			講 義	演 習	実 習	合 計
			5	25		30
科 目 概 要	サーバサイドプログラミングの基本である Java サブレットと JSP の概念や仕組み、データベースとの連携などを学習し、簡単な Web アプリケーションを構築する。 なお、本科目は IT 企業でシステム開発にかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	Java 言語における開発環境の整備ができ、JSP, Servlet, JavaBeans の作成ができる。 また、JDBC を使ったデータベースアクセスの実装ができる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	Web サーバーの構成要素		16	JavaBeans	
	2	環境設定		～	演習課題	
	3			19		
	4	簡単な Web アプリケーション		20	JDBC ドライバーによる DB 操作	
	～	演習課題		～	演習課題	
	7			22		
	8	JSP		23	ユーザー認証	
	～	演習課題		24	演習課題	
	11			25	総合演習課題	
12	プログラム間のつながり		～	30		
～	演習課題		30			
15						
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	Web アプリケーション構築の教科書		S C C		
	副教材					
実 習 環 境	Eclipse					
	Tomcat					
	Oracle Database					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-2807

科 目 名			時間数(90 分)			
セキュリティ応用			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	情報セキュリティ管理や情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）など情報セキュリティの実践的な知識や技術について、講義と過去問題を通して身に付ける。 なお、本科目は IT 企業でネットワークとセキュリティにかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	情報セキュリティ分野の高度な知識や技術を理解するとともに、企業のセキュリティ部署において活躍できる基礎力を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	情報セキュリティの重要性と機密管理		16		
	2	ISMS と情報セキュリティポリシー		17		
	3	リスク分析と評価		18		
	4	セキュリティ技術評価		19		
	5	情報セキュリティ技術		20		
	6	パスワード管理と認証技術		21		
	7	電子証明書と PKI		22		
	8	ソーシャルエンジニアリング		23		
	9	DoS 攻撃とマルウェア		24		
	10	技術的セキュリティ対策		25		
	26					
	12	アプリケーションセキュリティ		27		
	13	物理的・人的セキュリティ対策		28		
	14	まとめ		29		
	15	科目試験		30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	セキュリティ応用（学習ノート）		S C C		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：人力-2002

科 目 名			時間数(90分)			
ビジネスマナーと文書技法			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	ビジネスマナーとeメールを含むビジネス文書について、講義とさまざまなケーススタディにおける接客対応の実例や確認問題を通して習得する。 なお、本科目はコンテンツ開発企業でコンテンツ制作ネットワークとプロデュースセキュリティに携わった実務経験を持つ講師が、その知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	基本的なビジネスルールを習得し、誤解や失礼のない定型的なビジネス文章が書けるようになることで、社会人として相応しい対応を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	コミュニケーション力とは				
	2	話すことと書くこと				
	3	効果的な話し方				
	4	敬語				
	5	職場のマナーと執務上のマナー				
	6	電話の受け方、掛け方				
	7	来客対応と席次				
	8	身だしなみ				
	9	効果的な書き方				
	10	電子メールの知識				
	11	電子メールの書き方、出し方				
	12	ビジネス文書の知識と構成				
	13	ビジネス文書の作成実践				
	14	まとめ				
	15	科目試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	表現技法～ビジネスマナーと文章技法～		S C C		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-2160

科 目 名			時間数(90 分)				
モバイルアプリケーション開発			講 義	演 習	実 習	合 計	
				20		20	
科 目 概 要	クラウドサービスの統合開発環境（Monaca）を利用し、Android/iOS 両対応のハイブリットアプリを開発する。開発を通して HTML, CSS, JavaScript の技術を習得する。						
学 習 到 達 目 標	HTML, JavaScript の基本文法を理解し、動くアプリを作成できる。自分のアイデアをアプリに反映し、オリジナルアプリを作成できる。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1 ～ 3	Monaca の使い方 HTML, CSS, JavaScript の復習		16 ～ 20	オリジナルアプリの開発		
	4 ～ 7	JavaScript (関数、イベント、DOM)		21			
				22			
	8 ～ 11	フォーム、演算子、Onsen UI		23			
				24			
				25			
				26			
	12 ～ 15	配列、繰り返し、JSON、mBaaS		27			
				28			
				29			
				30			
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
		主教材	Monaca で学ぶはじめてのプログラミング ～モバイルアプリ入門編～		ブックウェイ		
副教材							
実 習 環 境	Google Chrome						
	Monaca						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
成 績 評 価 方 法	・課題提出（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可			

科目番号：H-2154

科 目 名			時間数(90分)			
プレゼンテーションスキル			講 義	演 習	実 習	合 計
			5	10		15
科 目 概 要	プレゼン資料の作成を通して、情報を収集し整理活用する方法など、プレゼンテーション技法を学習する。					
学 習 到 達 目 標	パワーポイントを用いて、効果の高いプレゼン用スライドを作成し、自分の考えを明確に伝えことができる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	概要説明／テーマ決定／構成の思案		16		
	2			17		
	3 ～ 9	プレゼン資料作成		18		
				19		
				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
	10	プレゼン準備、リハーサル		25		
	11			26		
	12 ～ 15	発表		27		
				28		
				29		
				30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	伝わるデザインの基本 増補改訂版 よい資料を作るためのレイアウトの ルール		技術評論社		
	副教材					
実 習 環 境	Microsoft PowerPoint					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (50%) ・プレゼン (50%)			＜評価基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-2808

科 目 名			時間数(90 分)			
卒業研究			講 義	演 習	実 習	合 計
				120		120
科 目 概 要	実施テーマは新年度初頭に各講師から提示され、受講学生は希望に応じてテーマを 1 つ選択する。各テーマを選択した学生は、学科で得られた専門知識を活用し、指導講師の指導のもとで研究活動を行う。					
学 習 到 達 目 標	各学科の専門分野で習得した知識を駆使して、理解力、積極性、論理性、協働性、計画性、継続性などの能力を総合的に発揮する。研究成果物を完成させ卒業研究発表を通して、計画立案、実行能力、目標達成能力も合わせて身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-4	研究サブテーマ検討・選定				
	5-9	卒業研究環境構築				
	10-30	卒業研究開発				
	31-36	卒業研究レビュー1				
	37-66	卒業研究開発				
	67-72	卒業研究レビュー2				
	73-99	卒業研究開発				
	100-109	卒業研究発表の資料作成と推敲				
	110-120	個別研究の完成と発表				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各指導講師に委ねる				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	各ゼミで目標設定された資格 例：MOS、LPIC 等					
成 績 評 価 方 法	・ 課題提出 (75%) ・ プレゼン (25%)			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-2136

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 1-2 (レベル 2)			講 義	演 習	実 習	合 計
			30			30
科 目 概 要	総合情報処理 1-1 レベル 2 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2 : 「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 2 : 「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-2	サービスマネジメント／システム監査				
	3	システム戦略／システム企画				
	4-6	経営戦略マネジメント／技術戦略マネジメント／ビジネスインダストリ				
	7-12	企業活動／法務				
	13-15	模試 3				
	16-18	弱点補強 3				
	19-22	弱点補強 言語系				
	23-26	弱点補強 設計系				
	27-30	国家試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	コンピュータシステムの基礎		S C C		
		ネットワークとシステム開発の基礎		S C C		
		アルゴリズムとデータ構造		S C C		
		企業活動と IT マネジメント		S C C		
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・ 科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点 : 秀 89～80 点 : 優 79～70 点 : 良 69～60 点 : 可 59 点以下 : 不可		

科目番号：H-2137

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 1-2 (レベル 3)			講 義	演 習	実 習	合 計
			30			30
科 目 概 要	総合情報処理 1-1 レベル 3 の継続科目で、経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-6	AM対策				
	7-13	PM対策				
	14-16	模擬試験 1				
	17-20	弱点補強 1				
	21-23	模擬試験 2				
	24-30	弱点補強 2				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・ 科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-2138

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 1-2 (レベル 4)			講 義	演 習	実 習	合 計
			30			30
科 目 概 要	総合情報処理 1-1 レベル 4 の継続科目で、情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-3	AM対策				
	4-6	模擬試験 2				
	7-15	模擬試験 2 解説				
	16-18	AM対策				
	19-21	模擬試験 3				
	22-27	模擬試験 3 解説				
	28-30	弱点対策				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科 目 名			時間数(90分)			
自主課題研究 1-2			講 義	演 習	実 習	合 計
				30		30
科 目 概 要	自主課題研究 5-1 の継続科目で、各自設定したテーマにもとづいて創作(学習)活動をする。学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学 習 到 達 目 標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-30	自主創作(学習)活動				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-2139

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 2 (レベル 2)			講 義	演 習	実 習	合 計
			90			90
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 2：「基本情報技術者試験 (レベル 2)」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-7	ガイダンス、基礎理論		61-62	サービスマネジメントとシステム監査	
	8-17	アルゴリズムとプログラミング		63	システム戦略と企画	
	18-22	コンピュータ構成要素		64-66	戦略マネジメント	
	23-24	システム構成要素		67-72	企業活動と法務	
	25-28	ソフトウェア/ハードウェア		73-75	模試 3	
	29	ヒューマンインタフェース/マルチメディア		76-87	弱点補強 3	
	30-31	模試 1		88-90	国家試験	
	32	弱点補強 1				
	33-38	データベース				
	39-48	ネットワーク/セキュリティ				
	49-53	システム開発技術				
	54-55	模試 2				
	56	弱点補強 2				
	57-58	ソフトウェア開発管理技術				
	59-60	プロジェクトマネジメント				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	コンピュータシステムの基礎		S C C		
		ネットワークとシステム開発の基礎		S C C		
		アルゴリズムとデータ構造		S C C		
		企業活動と IT マネジメント		S C C		
副教材						
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-2140

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 2 (レベル 3)			講 義	演 習	実 習	合 計
			90			90
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス		76-78	模擬試験 3	
	2-4	コンピュータ科学基礎		79-80	弱点補強 3	
	5-7	コンピュータアーキテクチャ		88-90	国家試験	
	8-10	基本ソフトウェア				
	11-15	通信ネットワーク				
	16-20	データベース				
	21-25	ソフトウェア工学				
	26-30	システム構成技術				
	31-35	マネジメント				
	36-45	AM対策				
	46-55	PM対策				
	56-58	模擬試験 1				
	59-65	弱点補強 1				
	66-68	模擬試験 2				
	69-75	弱点補強 2				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・ 科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-2141

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 2（レベル 4）			講 義	演 習	実 習	合 計
			90			90
科 目 概 要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス		66-68	AM対策	
	2-3	情報セキュリティ		69-71	模擬試験 3	
	4	リスクマネジメント		72-77	模擬試験 3 解説	
	5-12	主な侵入・攻撃方法と対策		78-80	弱点対策	
	13-18	ネットワークセキュリティ				
	19-21	電子メール、Web アプリケーション				
	22-24	認証技術				
	25-35	情報セキュリティマネジメント				
	36	シングルサインオン				
	37-38	AM対策				
	39-41	模擬試験 1				
	42-50	模擬試験 1 解説				
	51-53	AM対策				
	54-56	模擬試験 2				
	57-65	模擬試験 2 解説				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-2127

科 目 名			時間数(90 分)			
自主課題研究 2			講 義	演 習	実 習	合 計
				90		90
科 目 概 要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学 習 到 達 目 標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-3	学習テーマ設定				
	4-90	自主創作(学習)活動				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 1 (50%) ・課題提出 2 (50%)			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：シス H-2005

科 目 名			時間数(90 分)				
オブジェクト指向プログラミング			講 義	演 習	実 習	合 計	
			15	30		45	
科 目 概 要	Java 言語によるプログラミングを通して、Java 言語の概要を理解するとともに、オブジェクト指向プログラミングの考え方を理解する。また、データベースとの連携などを学習し、簡単なアプリケーションシステムを構築する。						
学 習 到 達 目 標	Java 言語の機能を理解し、オブジェクト指向の概念が説明できる。また、コレクションクラスを使用し、ファイルやデータベースを利用したプログラムを作ることができる。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1 ～ 8	Java 入門復習		23	Java プログラムの活用		
	9 ～ 10	オーバーロード		24 25	クラスライブラリ		
	11 ～ 12	継承		26 27 ～ 45	総合演習		
	13 ～ 14	オーバーライド					
	15 ～ 16	抽象クラス					
	17 ～ 18	インタフェース					
	19 ～ 20	ポリモフィズム					
	21 ～ 22	コンストラクタ					
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
		主教材	オブジェクト指向プログラミングの教科書		S C C		
		副教材					
	実 習 環 境	Eclipse					
	目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	成 績 評 価 方 法	・課題提出（100%）			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-2111

科 目 名			時間数 (90 分)			
Web アプリケーション構築 2			講 義	演 習	実 習	合 計
				30		30
科 目 概 要	Web アプリケーション構築 1 で習得した技術（JSP、サーブレット、データベースなど）を使い、Web アプリケーションを構築する。MVC モデルや例外処理などを意識し、実際のシステム開発でも使う開発手法や実装方法について学ぶ。					
学 習 到 達 目 標	グループ開発で Web アプリケーションを構築できる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	演習内容の説明				
	2	環境設定				
	3	ソース管理				
	4	サンプル画面・ソースの説明				
	～					
	8					
	9	グループ開発				
	～					
	30					
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	Web アプリケーション構築の教科書		S C C		
	副教材					
実 習 環 境	Eclipse					
	Tomcat					
	Oracle Database					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：シス HJ-2004

科 目 名			時間数(90分)			
データベース応用			講 義	演 習	実 習	合 計
			10	5		15
科 目 概 要	システム開発に欠かせない基盤技術となっているデータベースを操作するSQLについて、知識だけでなく実際に目的からSQLを構築できる能力を養う。					
学 習 到 達 目 標	基本情報/応用情報に出題されるSQLの問題が解けるようになる。SQLに習熟し、状況に応じて必要なSQLを作成できるようになる。					
講 義 計 画	回	内 容	回	内 容		
	1	SQL基本の復習				
	2					
	3	演算、文字列の結合				
	4					
	5	集合関数				
	6					
	7	条件による絞り込み				
	8					
	9	グループ化				
	10					
	11	並び替え、重複排除				
	12	表結合(複数テーブル)				
	13	外部結合				
	14	追加 (INSERT)、更新 (UPDATE) 削除 (DELETE)				
	15	科目試験				
使 用 教 材	書 籍 名		出 版 社			
	主教材	スッキリわかる SQL 入門	インプレス			
	副教材					
実 習 環 境	クラウド実行環境					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (50%) ・課題提出 (50%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：H-2129

科 目 名			時間数(90分)				
システム設計演習			講 義	演 習	実 習	合 計	
			3	22		25	
科 目 概 要	グループ演習を通じて、システム開発における設計フェーズを実践的に学ぶ。講師をユーザに見立てた、システムの仕様に関するヒアリングや調整を疑似体験する中で、メンバーとコミュニケーションを取りながら設計書を作成するノウハウを身に付ける。						
学 習 到 達 目 標	システム要件定義書、画面設計書、データベース設計書といった一連のドキュメントを作成できる。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1	講義 1/チーム編成		16	各種設計書作成		
	2	講義 2/チームビルディング		～			
	3	講義 3/仕様配布		21			
	4 ～ 6	業務分析		22 ～ 25	レビュー		
	7 ～ 9	第一ヒアリング					
	10 ～ 12	要件定義書作成					
	13 ～ 15	第二ヒアリング					
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
		主教材	はじめよう！ 要件定義 ビギナーからベテランまで		技術評論社		
		はじめよう！ システム設計 要件定義のその後に		技術評論社			
副教材							
実 習 環 境							
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
成 績 評 価 方 法	・課題提出（100%）			＜評価基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

科目番号：H-2103

科 目 名				時間数(90 分)			
Linux サーバ技術 1				講 義	演 習	実 習	合 計
				30			30
科 目 概 要	Linux システムの構築・運用・管理の知識について、テキストや模擬問題を通して学習する。また、LPI Level1 Exam 101、および LinuC Level1 Exam 101 の取得を目指す。						
学 習 到 達 目 標	Linux システムの構築・運用・管理の内容を理解する。また、LPIC、および LinuC の Level1 Exam 101 に相当する知識と技術を習得する。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1 ～ 5	システムアーキテクチャ ハードウェアの基本知識と設定、Linux の起動とシャットダウン、SysVinit、systemd		16 ～ 20	ファイルとプロセスの管理 基本的なファイル管理、パーミッションの設定、ファイルの所有者管理、ハードリンクとシンボリックリンク、プロセス管理、プロセスの実行優先度		
	6 ～ 10	Linux のインストールとパッケージ管理 ハードディスクのレイアウト設計、ブートローダのインストール、共有ライブラリ管理、Debian パッケージの管理、RPM パッケージの管理		21 ～ 25	デバイスと Linux ファイルシステム パーティションとファイルシステムの作成、ファイルシステムの管理、ファイルシステムのマウントとアンマウント、ディスクオータの管理、ファイルの配置と検索		
	11 ～ 15	GNU&UNIX コマンド コマンドライン操作、パイプとリダイレクト、テキスト処理フィルタ、正規表現を使ったテキスト検索、vi エディタ		26 ～ 29	資格試験対策		
				30	科目試験		
使 用 教 材	書 籍 名				出 版 社		
	主教材	Linux 教科書 LPIC レベル 1 Version5.0 対応			翔泳社		
	副教材						
実 習 環 境							
目 標 資 格	資 格 名				実 施 団 体		
	LPI Level1 Exam 101				LPI		
	LinuC Level1 Exam 101				LPI-Japan		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)				<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：HSJ-2804

科 目 名			時間数(90 分)			
サーバ構築演習			講 義	演 習	実 習	合 計
				15		15
科 目 概 要	Linux サーバの構築方法について、実習を通して Linux のインストールや基本的な CUI 操作などサーバ管理者としての基礎知識を学習する。					
学 習 到 達 目 標	代表的なサーバ環境の構築を実践することで、OS インストール、各種コマンドの使い方、主要なソフトウェアのインストール～設定方法を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	OS のインストール				
	2	リモートログイン				
	3	vi の操作とバックアップの取得				
	4	セキュリティの設定(アクセス制御)				
	5	セキュリティの設定 (ネットワークセキュリティ)				
	6	LAMP サーバの構築				
	7	ブログサーバの構築				
	8	ブログサーバの構築 (ソースコンパイルの利用)				
	9					
	10	シェル				
	11	samba の構築と手順書の作成				
	～					
	13					
	14	手順書の動作検証				
	15	提出物の確認				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	15 時間でわかる CentOS 集中講座		技術評論社		
	副教材					
実 習 環 境	VirtualBox					
	CentOS7					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：H-2805

科 目 名			時間数(90 分)			
サーバ構築総合演習			講 義	演 習	実 習	合 計
				50		50
科 目 概 要	サーバの構築について、インストールや設定といった演習を通して必要な知識と具体的な手法を習得する。					
学 習 到 達 目 標	サーバエンジニアに必要なサーバ構築の知識と Linux 操作技術を身につける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	サーバ環境の基礎		29	IPsec・自動侵入検出システムの設定	
	2	サーバ・システムの導入		～		
	3	telnet、vi、ftp の練習		32		
	4			DB の構築		
	5	サーバインストール		33	セキュリティの強化設定	
	6			34		
	7	DNS サーバ・メールサーバ・WWW サーバ・samba サーバの設定		35	仮想化と様々な OS について	
	～			42		
	14			43		
	15	復習		44	運用管理について	
	16			45		
	17	セキュリティ設定・SSL・SSH・ファイアウォールの設定		46	最終テスト	
	24					
	25	中間テスト		47		
28	50					
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	28 日で即戦力！サーバ技術者養成講座 [改訂 3 版]		技術評論社		
	副教材					
実 習 環 境	メモリ 8GB のサーバ 1 台、メモリ 4GB 以上のサーバ 2 台、WindowsPC					
	CentOS7.4					
	OpenStack mitaka 以上					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：H-2147

科 目 名			時間数(90分)			
ネットワーク構築演習			講 義	演 習	実 習	合 計
				20		20
科 目 概 要	ネットワークの構築について、スイッチやルータの設定といった演習を通して必要な知識と具体的な手法を習得する。					
学 習 到 達 目 標	ネットワークエンジニアに必要なネットワーク構築技術、ネットワーク機器の設定技術をみにつける					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ネットワークの基礎知識		16	ネットワーク構築3	
	2	スイッチを使ったネットワーク1		17	ネットワーク構築4	
	3	スイッチを使ったネットワーク2		18	ネットワーク構築5	
	4	VLAN ネットワーク1		19	ネットワーク構築テスト1	
	5	VLAN ネットワーク2		20	ネットワーク構築テスト2	
	6	VLAN ネットワーク3		21		
	7	ルータを使ったネットワーク1		22		
	8	ルータを使ったネットワーク2		23		
	9	ルータを使ったネットワーク3		24		
	10	ルーティングプロトコル1		25		
	11	ルーティングプロトコル2		26		
	12	NAT1		27		
	13	NAT2		28		
	14	ネットワーク構築1		29		
	15	ネットワーク構築2		30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	配布資料				
	副教材					
実 習 環 境	Windows マシンとネットワークシミュレータソフト					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出(100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		